

Ⅰ 次の文章を読み、あとの（①）から（④）までの問い合わせに答えなさい。

日本の主な工業地域や工業地帯は、海ぞいに広がっています。なかでも関東地方の南部から九州地方の北部にかけては、工業地域や工業地帯が海ぞいに帶のように広がり、（①）とよばれています。その工業生産額は、日本全体の半分以上をしめています。

とくにA自動車工業は、関連工場がバトンリレーのように協力して、部品を作ったり組み立てたりするしくみが発達したこと、生産量が大きくふえました。その結果、B外国への輸出がふえ、日本の経済にとって大切な産業となりました。

しかし、c日本からの輸出がふえすぎると、貿易相手国が「自分たちの国の商品が売れなくなる」と不満を持ち、（②）とよばれる対立が起こり、国どうしの関係にも影響をあたえることがあります。

（1）空らん（①）、（②）にあてはまる言葉を答えなさい。

（2）下線部Aについて、次の【資料1】は、日本の自動車会社で用いられてきた生産方式「ジャスト・イン・タイム」と、近年取り入れられている「ジャスト・イン・ケース」についてまとめたものである。【資料1】を参考にして、説明文中の（X）、（Y）にあてはまる内容として適当なものを、あとのアからエまでのなかから1つ選び、記号で答えなさい。

#### 【資料1】

ジャスト・イン・タイム	ジャスト・イン・ケース
必要な部品を、必要な時に、必要な量だけ、つくったり運んだりするしくみ。	もしもの時にそなえて、必要な量よりも多めに部品や材料を倉庫に置いておくしくみ。

#### 説明文

ジャスト・イン・タイムの良い点は、（X）ことである。一方で、（Y）という悪い点もある。

（X）

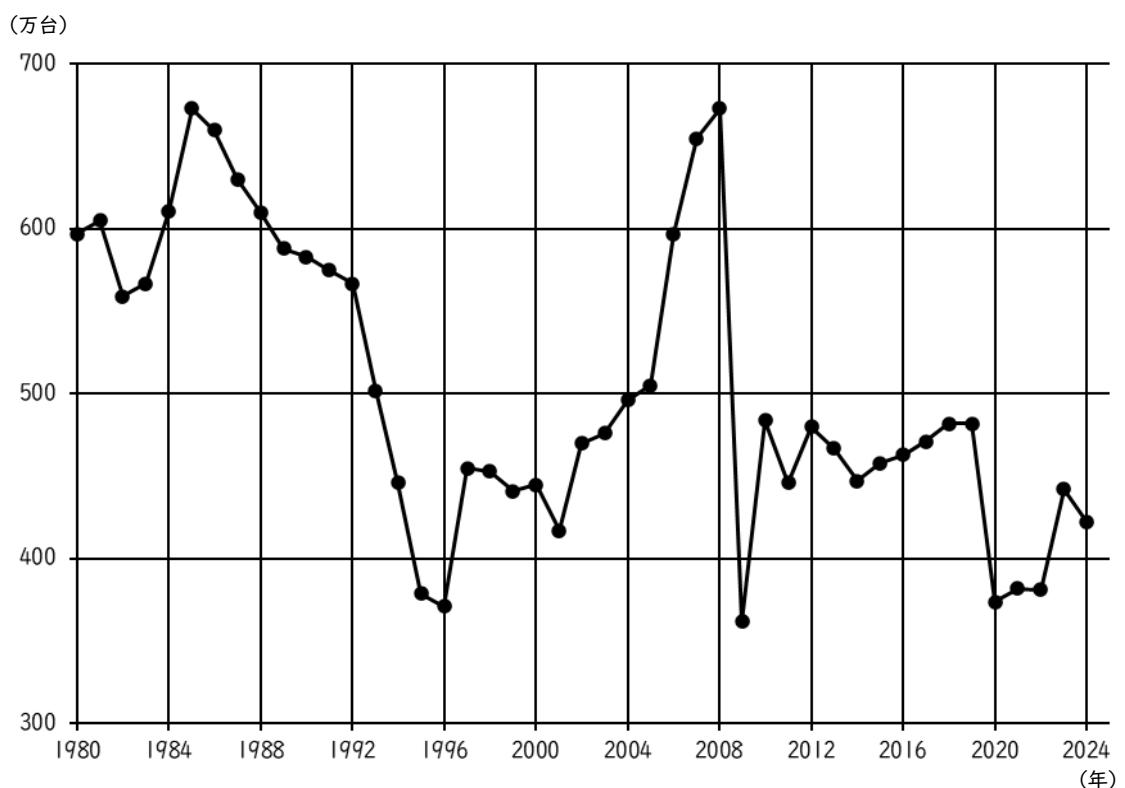
- ア 多くの部品を前もって保管するため、必要な部品をすぐに使うことができる
- イ 多くの部品を保管しないため、必要な部品がすぐに手に入らないことがある
- ウ 必要な部品を前もって多くそろえておくため、生産が安定しやすい
- エ 余分な部品を保管する必要がなく、保管にかかる費用をおさえられる

( Y )

- ア 部品を多く保管するため、保管のために広いスペースが必要となる
- イ 部品を多く保管するため、その費用が大きくなる
- ウ 必要なときに必要な数の部品がとどかないと、生産が止まってしまう
- エ 必要な部品を余分にそろえておくことをしないため、生産が安定しやすい

(3) 下線部Bについて、次の【資料2】から読み取れることとして適当でないものを、あとのアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

【資料2】 日本の自動車輸出台数の変化



日本自動車工業会ホームページより作成

- ア 1996年の輸出台数は、400万台を下まわっている。
- イ 1985年から1996年にかけて、輸出台数は減少し続けている。
- ウ 2008年から2009年の輸出台数の減少数は、この期間内で最も大きい。
- エ 2024年の輸出台数は、2008年の輸出台数の半分を下まわる。

(4) 下線部Cをふまえて、次の【資料3】の下線部がアメリカの人々にとってどのような点で良いのか、15字程度で説明しなさい。

【資料3】アメリカ大統領の過去のSNSの書き込み

日本の自動車会社が、アメリカ向けに輸出する自動車をメキシコの新工場でつくる計画を立てているという。とんでもないことだ。アメリカ国内でつくれ！

白紙のページ

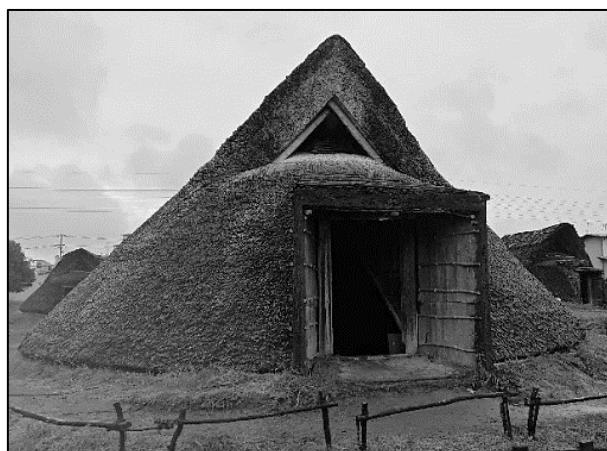
2 次の文章を読み、あとの（1）から（3）までの問い合わせに答えなさい。

今から約1万2000年ほど前に氷河期がおわると、気候が温暖で安定し、日本列島でも土器を使った縄文時代の生活が広がりました。人びとは狩り・漁・採集をおこない、自然が豊かな北海道や東北では大きな集落も生まれました。A 集落では【資料1】のような地面を掘り下げた建物が作られ、深いものでは地面から2.4mほど掘り下げたものもありました。

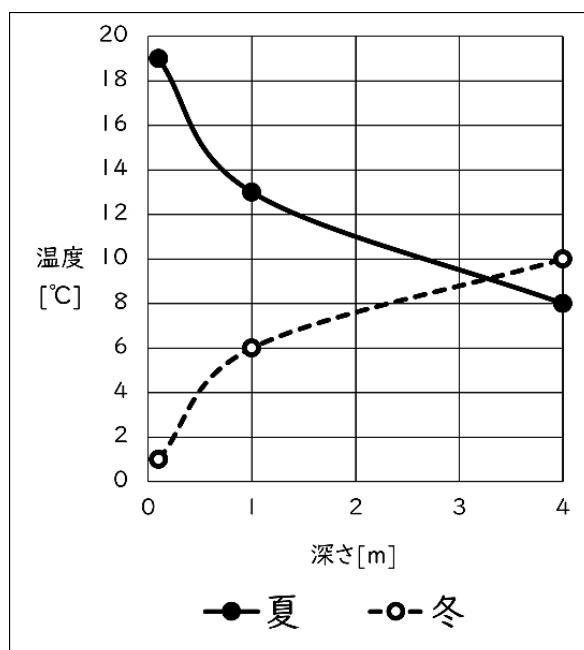
しかし、縄文時代の中ごろから気候がだいに寒冷化すると、これまでのような狩りや漁ができなくなりました。そのような中で、今から2300年ほど前に渡来人によって米づくりの技術が伝わると、だいに日本でもB 米づくりが広がり、弥生時代がはじまりました。

こうした人びとのC 生活の変化は、各地の遺跡の調査によって知ることができます。

【資料1】縄文時代から古墳時代ごろまで人々が生活した建物



【資料2】地中の温度



JSCE 土木学会ホームページより作成

(1) 下線部Aについて、次の①、②の問い合わせに答えなさい。

①【資料1】の建物を何と呼びますか。

②人びとはなぜ地面を掘り下げた建物で生活していたのか。【資料2】から考えられる理由として適当なものを、下のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 地中の温度は、外と同じように季節によって大きく変わるため、その時の気温に合わせてくらし方を調整しやすく、生活がしやすくなる。

イ 地中は深くなるほど温度が下がり、深さ2.4mでは一年中10°Cを下回るので、安全に食料を保存でき、生活がしやすくなる。

ウ 深さ2.4mの地中は、夏は約10°C、冬は約8°Cとなり、外よりも夏ははずしく、冬はあたたかくすごせるので、生活がしやすくなる。

エ 地中は深くなるほど温度が上がり、深さ2.4mでは一年中10°Cを上回るので、体温を保つことができ、生活がしやすくなる。

(2) 下線部Bについて、次の文章は、【資料3】と【資料4】についての説明文です。文章中の( X )、( Y )に適する言葉を書きなさい。

収穫した米を保存するために【資料3】が建てられました。床が地面から離れているのは、( X )を防ぐためです。米が保存できるようになると、集落には新しい問題が生まれました。そのため、【資料4】のように集落のまわりに溝がつくられました。これは、米が保存できるようになったことで( Y )ようになったからです。

【資料3】弥生時代の建物

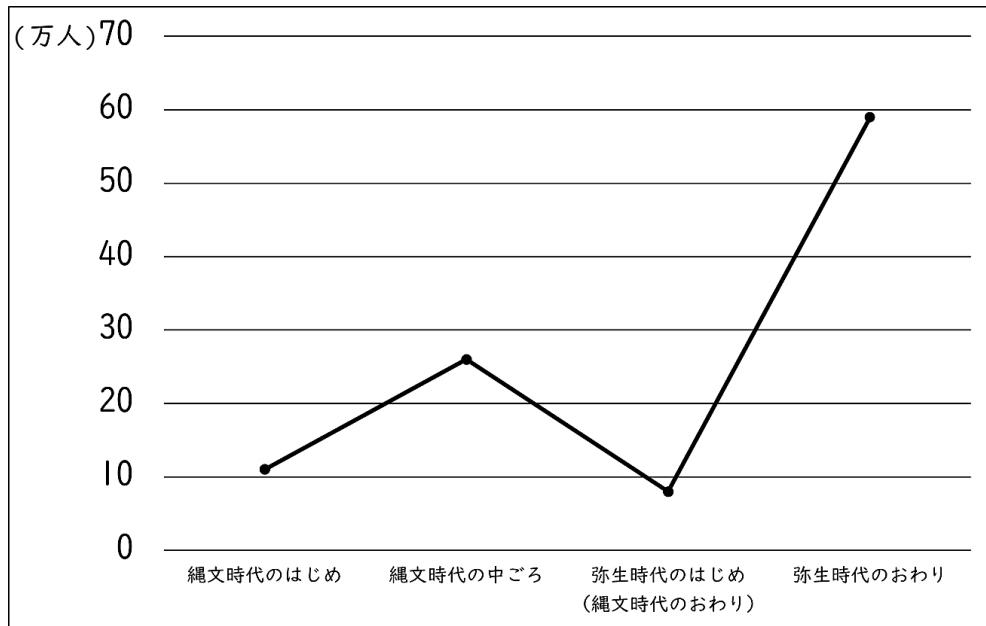


【資料4】弥生時代の集落



- (3) 下線部Cについて、【資料5】は、この時代の人口の変化を、また【資料6】は、この時代の遺跡の資料を示している。「弥生時代のはじめ（縄文時代のおわり）」から「弥生時代のおわり」にかけて、人口がどのような理由で、どのように変化したのか。【資料5】と【資料6】から読み取れる内容として最も適当なものを、あのアからエまでの中から選び、記号で答えなさい。

【資料5】縄文時代から弥生時代の人口の変化



鬼頭宏『人口から読む日本の歴史』より作成

【資料6】百間川遺跡群（岡山市）の調査結果

	1つの水田の面積	みつかった道具
弥生時代のはじめ（縄文時代のおわり）	およそ4~10数m <sup>2</sup>	おもに木製や石製
弥生時代のおわり	およそ40~70m <sup>2</sup>	おもに鉄製

- ア 石製の道具を使うようになり、1つの水田の面積が広がったぶんだけ手間がかかり、働く時間が増えた結果、人口が減少したと考えられる。
- イ 木製の道具を使うようになり、土の養分が増えたぶんだけ米の収穫量が増え、より多くの栄養をとれるようになった結果、人口が増加したと考えられる。
- ウ 鉄製の道具を使うようになり、1つの水田の面積が広がったぶんだけ米の収穫量が増え、より多くの栄養をとれるようになった結果、人口が増加したと考えられる。
- エ 鉄製の道具を使うようになり、よりかたい土地もひらくことができるようになり、働く時間が増えた結果、人口が減少したと考えられる。

3 次の文章を読み、あとの（1）、（2）の問い合わせに答えなさい。

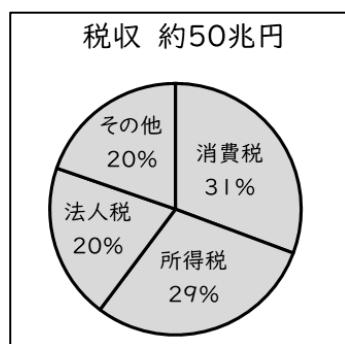
わたしたちが納める税金のうち、国が集めるものをA国税、地方公共団体（都道府県や市町村）が集めるものをB地方税といいます。現在、世界でおこる紛争などが原因で、食品や生活に必要な製品が値上がりして、生活がきびしいと感じている人が多いといわれています。そのような中で税金の集め方、使い方に人々の注目が集まっています。

（1）下線部Aについて、次の【資料1】と【資料2】は、国税についてまとめたものである。

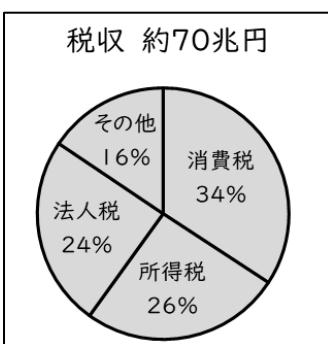
【資料1】と【資料2】を参考にして、説明文中の（①）から（③）までに入る語句の組み合わせとして適当なものを、あとのアからエまでのなかから1つ選び、記号で答えなさい。

#### 【資料1】<sup>ぜいしゅう</sup>税収における税金の分類

2014年



2024年



財務省ホームページ  
より作成

#### 【資料2】税金の種類としくみ

消費税	物を買ったときや、サービスをうけたときにかかる税金。 すべての人が同じ割合ではらうしくみ。
所得税	会社員がはたらいで、お金をもらったときにかかる税金。 もらうお金が多いほど、はらう税金もふえるしくみ。
法人税	会社がもうけたお金にかかる税金。 もうけの大きさによって、はらう税金がきまるしくみ。

#### 説明文

2014年と2024年を比べると、税金に占める法人税の割合は、2024年のほうが（①）。一方で、所得税の割合は、2024年のほうが（②）。法人税と所得税の税率が変わっていないとすると、2014年から2024年にかけて会社のもうけが増えた割合に比べて、会社員の給料が増えた割合の方が（③）と考えられる。

	①	②	③
ア	大きい	大きい	小さい
イ	大きい	小さい	小さい
ウ	小さい	大きい	大きい
エ	小さい	小さい	大きい

(2) 下線部Bについて、次の問い合わせに答えなさい。

【資料4】いちむら町のチラシ

いちむら町外にお住まいのみなさま、いちむら町を応援おうえんしてください！

いちむら町に( X )納税してみませんか？

< ( X ) 納税とは >

あなたの住むまち以外に、応援したい市町村に寄付きふをすると、そのお礼として特産品などの特典とくでんが送られてきて、あなたの住むまちに納める税金が一部安くなる制度です。

<選べる特典>

寄付金	返礼品
¥30,000	いちむら町産肉厚ホタテ 1キロ
¥50,000	いちむら町産和牛ステーキ 1キロ
¥100,000	いちむら町産新米ブレンド 15キロ

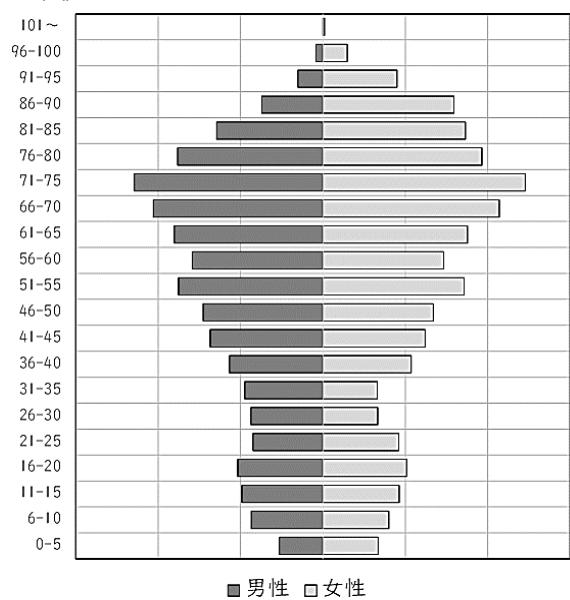
※寄付していただいたお金は、町のために大切に使わせていただきます。

いちむら町役場 企画課

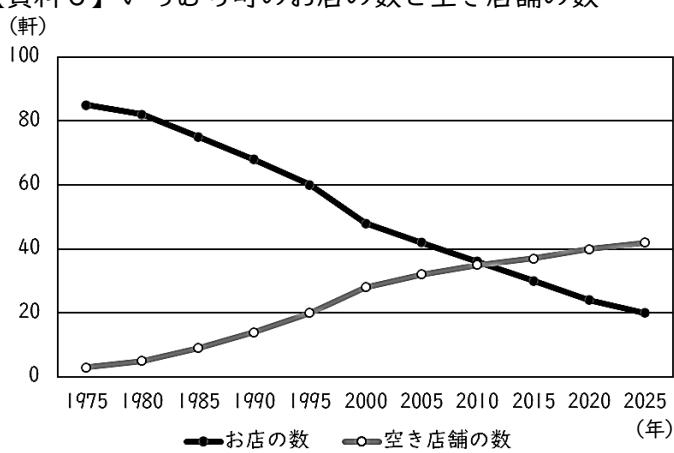
①【資料4】の( X )にあてはまる言葉を答えなさい。

②【資料4】の下線部について、あなたがいちむら町の町長だとしたら、このしくみで寄付されたお金をどのように使いますか。次の【資料5】から【資料7】までを参考に、いちむら町の課題を1つあげ、使いみちを説明しなさい。

【資料5】いちむら町の人口ピラミッド  
(歳)



【資料6】いちむら町のお店の数と空き店舗の数



【資料7】いちむら町の路線バスの利用客数と赤字額

